

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例の一部改正に伴う指導要録等の取扱いについてお知らせします。

事務連絡
令和4年3月31日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課

御中

文部科学省初等中等教育局教育課程課
文部科学省高等教育局大学振興課

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例の一部改正に伴う指導要録及び調査書の取扱いについて

「国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例」（平成27年文部科学省告示第127号）の一部改正及び国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目と高等学校学習指導要領の科目の対応関係については、「国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例の一部を改正する告示について（通知）」（令和3年12月28日付け3文科初第1766号文部科学省初等中等教育局長・高等教育局長・大臣官房国際課長連名通知。以下「令和3年通知」という。）及び「国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目における高等学校学習指導要領の内容事項等の取扱いについて」（令和3年12月28日付け事務連絡。以下「令和3年事務連絡」という。）によりお知らせしたところです。

このことに伴う指導要録（高等学校（全日制の課程・定時制の課程）生徒指導要録（参考様式）及び高等学校（通信制の課程）生徒指導要録（参考様式）、以下同じ。）及び大学入学者選抜の調査書の取扱いについては、下記のとおりとしますので、十分に御了知の上、御対応いただきますようお願いいたします。

なお、令和4年4月1日より前に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）に入学した生徒に係る指導要録及び調査書の取扱いについては、「学校教育法施行規則の一部を改正する省令及び国際バカロレア・ディプロマ・プロ

グラム認定校における教育課程の基準の特例の制定に伴う指導要録及び調査書の取扱いについて」(平成28年3月25日付け事務連絡)を適用いただきますようお願いいたします。

本事務連絡が国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校である高等学校を対象としていることを踏まえ、各都道府県教育委員会におかれては、所管の高等学校及び域内の高等学校を所管する指定都市を除く市町村教育委員会に対して、各指定都市教育委員会におかれては所管の高等学校に対して、各都道府県及び構造改革特別区域法(平成14年法律第189号)第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体におかれては、所轄の高等学校及び学校法人等に対して、附属学校を置く各国公立大学におかれては、その管下の高等学校に対して、このことを周知くださるようお願いいたします。

記

1. 指導要録の取扱いについて

(1) 別紙1中Iに掲げる科目について

別紙1中Iの左欄に掲げる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の履修及び単位の修得をした場合、様式1(学籍に関する記録)裏面の「科目」及び「修得単位数の計」の欄においては、それぞれ、学校設定科目又は学校設定教科に関する科目(以下「学校設定科目等」という。)として当該科目の名称及び修得単位数の計を記載できること。また、様式2(指導に関する記録)の「各教科・科目等の学習の記録」の「各教科・科目等」、「観点別学習状況」、「評価」、「修得単位数」及び「修得単位数の計」の欄においては、それぞれ、学校設定科目等として当該科目の名称、観点別学習状況、評価、修得単位数及び修得単位数の計を記載することができること。

また、別紙1中Iの中欄に掲げる高等学校学習指導要領の科目については、様式1(学籍に関する記録)裏面の「修得単位数の計」の欄及び様式2(指導に関する記録)の「各教科・科目等の学習の記録」の「備考」の欄に、平成27年文部科学省告示第127号に基づき、国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の履修及び単位の修得をもって当該科目の履修及び単位の修得とみなしている旨を記載することができること。

(2) 別紙1中IIに掲げる科目について

別紙1中IIの左欄に掲げる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の

履修及び単位の修得をした場合、様式1（学籍に関する記録）裏面の「科目」及び「修得単位数の計」の欄においては、それぞれ、学校設定科目等として当該科目の名称及び修得単位数の計を記載できること。様式2（指導に関する記録）の「各教科・科目等の学習の記録」の「各教科・科目等」、「観点別学習状況」、「評定」、「修得単位数」及び「修得単位数の計」の欄においては、それぞれ、学校設定科目等として当該科目の名称、観点別学習状況、評定、修得単位数及び修得単位数の計を記載することができること。

また、別紙1中Ⅱの中欄に掲げる高等学校学習指導要領の科目については、様式1（「学籍に関する記録」裏面）の「修得単位数の計」の欄及び様式2（指導に関する記録）の「各教科・科目等の学習の記録」の「備考」の欄に、令和3年事務連絡に基づき、国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の履修及び単位の修得をもって当該科目の履修及び単位の修得と代替している旨を記載することができること。

（3）別紙1中Ⅲに掲げる科目について

教育課程特例校制度を活用して設置した学習指導要領の内容事項が適切に取り扱われた新科目の履修及び単位の修得をした場合、様式1（学籍に関する記録）裏面の「科目」及び「修得単位数の計」の欄においては、それぞれ、学校設定科目等として当該科目の名称及び修得単位数の計を記載することができること。様式2（指導に関する記録）の「各教科・科目等の学習の記録」の「各教科・科目等」、「観点別学習状況」、「評定」、「修得単位数」及び「修得単位数の計」の欄においては、それぞれ、学校設定科目等として当該科目の名称、観点別学習状況、評定、修得単位数及び修得単位数の計を記載することができること。

また、対応関係を求めた高等学校学習指導要領の科目については、様式1（学籍に関する記録）裏面の「修得単位数の計」の欄及び様式2（指導に関する記録）の「各教科・科目等の学習の記録」の「備考」の欄に、教育課程特例校制度を活用して設置した新科目の履修及び単位の修得をもって当該科目の履修及び単位の修得と代替している旨を記載することができること。

（4）国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目を履修した場合の観点別学習状況の評価及び評定について

国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目のうち学校設定教科に関する科目に該当する科目について、当該科目の目標や内容等から数値的な評価がなじまない場合には、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月29日付け30文科初第1845号文部科学省初等中等局長通知）別紙3Ⅱ1（3）に基づ

き、観点別学習状況の評価や評定は行わず、学習の状況や成果などを踏まえて、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に所見等を端的に記述するなど、評価の在り方等について工夫することができること。

2. 大学入学者選抜の調査書の取扱いについて

大学入学者選抜における国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目に係る調査書の取扱いについては、毎年度6月頃に大学・高等学校関係団体の代表者等による協議を経て策定される「大学入学者選抜実施要項」を参照すること。

[別紙1] 国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目と高等学校学習指導要領の科目等との対応関係について

[別紙2] 高等学校（全日制の課程・定時制の課程）生徒指導要録（参考様式）記入例

※高等学校（通信制の課程）生徒指導要録（参考様式）の記入に当たってもこれを参考すること

【本件担当】

<指導要録について>

文部科学省初等中等教育局
教育課程課教育課程企画室審議・調整係
TEL：03-5253-4111（内線：2369）
e-mail：kyokyo@mext.go.jp

<調査書について>

文部科学省高等教育局
大学振興課大学入試室入試第三係
TEL：03-5253-4111（内線：4902）
e-mail：gaknyusi@mext.go.jp

国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目と高等学校学習指導要領の教科・科目等との対応関係について

I	ランゲージA:ランゲージ・アンド・リタラチャー	現代の国語、言語文化	<p>○新告示(※)第1号により、新告示第2号の基準を満たしている場合、左欄に掲げる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の履修及び単位の修得をもって、右欄に掲げる高等学校学習指導要領の必修教科・科目等の履修及び単位の修得をしたものとみなすことができる。その際、修得したものとみなすことができる単位数は、高等学校学習指導要領に規定する標準単位数以下の単位数に限る。</p> <p>○大学入学者選抜においては、左欄に掲げる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の単位の修得をもって、右欄に掲げる高等学校学習指導要領の必修教科・科目等の単位の修得をしたものとみなすこと。</p>
	ランゲージA:リタラチャー	言語文化	
	ジオグラフィ	地理総合	
	ヒストリー	歴史総合	
	マセマティクス:アナリシス・アンド・アプローチズ	数学 I	
	マセマティクス:アプリケーションズ・アンド・インタープリテーション	数学 I	
	フィジックス	物理基礎	
	ケミストリー	化学基礎	
	バイオロジー	生物基礎	
	ミュージック	音楽 I	
	ヴィジュアル・アーツ	美術 I	
	ランゲージB	英語コミュニケーション I	
セオリー・オブ・ナレッジ	総合的な探究の時間		
II	ランゲージA:ランゲージ・アンド・リタラチャーSL	論理国語、文学国語、国語表現	<p>○左欄に掲げる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目と右欄に掲げる高等学校学習指導要領の教科・科目には対応関係が認められる。</p> <p>○新告示第3号により、学校設定教科・科目として設定した国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目について修得した単位数は、合わせて36単位を超えない範囲で卒業に必要な単位数のうちに加えることができる。</p> <p>○大学入学者選抜においては、左欄に掲げる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目の単位の修得をもって、右欄に掲げる高等学校学習指導要領の教科・科目の単位の修得と代替しているものとするなど、各大学において適切に判断されたい。</p>
	ランゲージA:ランゲージ・アンド・リタラチャーHL	論理国語、文学国語、国語表現、古典探究	
	ランゲージA:リタラチャー	論理国語、文学国語、国語表現、古典探究	
	ジオグラフィ	地理探究	
	ヒストリー	日本史探究、世界史探究	
	エコノミクス	政治・経済	
	マセマティクス:アナリシス・アンド・アプローチズSL	数学 II、数学 III、数学A、数学B	
	マセマティクス:アナリシス・アンド・アプローチズHL	数学 II、数学 III、数学A、数学B、数学C	
	マセマティクス:アプリケーションズ・アンド・インタープリテーションSL	数学 II、数学A、数学B	
	マセマティクス:アプリケーションズ・アンド・インタープリテーションHL	数学 II、数学 III、数学A、数学B、数学C	
	フィジックス	物理	
	ケミストリー	化学	
	バイオロジー	生物	
	ミュージック	音楽 II、音楽 III	
ヴィジュアル・アーツ	美術 II、美術 III		
ランゲージB	英語コミュニケーション II、英語コミュニケーション III、論理・表現 I、論理・表現 II、論理・表現 III		
III	I 又は II に該当しない国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目と高等学校学習指導要領の教科・科目		<p>○高等学校学習指導要領の教科・科目との対応関係を求める場合、教育課程特例校制度を活用して、高等学校学習指導要領の内容事項等が適切に取り扱われた新科目を設置すること。なお、教育課程特例校制度を活用して、国際バカロレア・ディプロマ・プログラム「ランゲージA:リタラチャー」と高等学校学習指導要領「現代の国語」の対応関係を求める際の留意事項等については、別紙を参照されたい。</p> <p>○新告示第3号により、学校設定教科・科目として設定した国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目について修得した単位数は、合わせて36単位を超えない範囲で卒業に必要な単位数のうちに加えることができる。</p>

(※)「国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例の一部を改正する告示」(令和3年文部科学省告示第202号)による改正後の「国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例」(平成27年文部科学省告示第127号)

高等学校（全日制の課程・定時制の課程）生徒指導要録（参考様式）

別紙2

様式1（学籍に関する記録）

区分 \ 学年	1	2	3	4
ホームルーム				
整理番号				

学 籍 の 記 録					
生 徒	ふりがな		性別	入学・編入学	年 月 日 第1学年 入学 第 学年編入学
	氏名				
	生年月日	年 月 日生	転入学	年 月 日	
	現住所				
保 護 者	ふりがな		転学・退学	年 月 日	
	氏名				
	現住所		留学等	年 月 日 ～ 年 月 日	
入学前の経歴		年 中学校卒業	卒業	年 月 日	
			進学先 就職先等		
学 校 名 及 び 所 在 地 (分校名・所在地等) 課程名・学科名					
年 度	年度	年度	年度	年度	
区分 \ 学年	1	2	3	4	
校長氏名印					
ホームルーム 担任者氏名印					

各教科・科目等の修得単位数の記録

各教科に共通する各教科・科目	教科	科目	修得単位数の計	事務連絡1(2)の記載例	教科	科目	修得単位数の計	事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	教科	科目	修得単位数の計																				
	国語	現代の国語 略 " "	地理歴史			地理探究 <small>令和3年事務連絡に基づき、ジオグラフィースLの履修及び単位の修得をもって代替している。</small> ジオグラフィースL 6 略 "	家庭						情報	理数	倫理	公民	倫理 <small>教育課程特別制御制度を活用し、フィロソフィーHLの履修及び単位の修得をもって代替している。</small> フィロソフィーHL 9 略 " "	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	音楽	美術	英語	学校設定教科							
各教科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語		事務連絡1(2)の記載例	家庭	〃		事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	情報	〃		音楽	〃		美術	〃		英語	〃		学校設定教科										
		略				〃							〃			〃			〃			〃												
		〃				〃							〃			〃			〃			〃			〃		〃		〃		〃		〃	
		〃				〃							〃			〃			〃			〃			〃		〃		〃		〃		〃	
	地理歴史	地理探究		事務連絡1(2)の記載例	理数	〃		事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃									
		ジオグラフィースL	6			〃							〃			〃			〃			〃												
		略				〃							〃			〃			〃			〃												
		〃				〃							〃			〃			〃			〃												
	公民	倫理		事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	商業	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃										
		フィロソフィーHL	9									〃			〃			〃			〃			〃										
		略										〃			〃			〃			〃			〃										
		〃										〃			〃			〃			〃			〃										
	数学	〃		事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	商業	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃										
		〃										〃			〃			〃			〃			〃										
		〃										〃			〃			〃			〃			〃										
	理科	〃		事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	商業	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃										
〃			〃										〃			〃			〃			〃												
〃			〃										〃			〃			〃			〃												
保健体育	〃		事務連絡1(3)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	商業	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃											
	〃										〃			〃			〃			〃			〃											
芸術	音楽I		事務連絡1(1)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	商業	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃											
	ミュージックSL	6									〃			〃			〃			〃			〃											
	〃										〃			〃			〃			〃			〃											
外国語	〃		事務連絡1(1)の記載例	学校設定教科	主として	門学科に	商業	主として	門学科に	農業	〃		工業	〃		商業	〃		水産	〃		家庭	〃											
	〃										〃			〃			〃			〃			〃											
	〃										〃			〃			〃			〃			〃											
	〃										〃			〃			〃			〃			〃											
														総合的な探究の時間																				
														留学																				

様式2 (指導に関する記録)

生徒氏名	学 校 名	区分	学年	1	2	3	4
		ホームルーム					
		整理番号					

各 教 科 ・ 科 目 等 の 学 習 の 記 録																
各 教 科 ・ 科 目 等	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			修 得 単 位 数 の 計	備 考		
	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数	学 観 評 修 得 単 位 数					
教科等	科目等	況 別	定	況 別	定	況 別	定	況 別	定	況 別	定	況 別	定			
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国 語	現代の国語														
		略														
	歴 史 地 理	地理探究														令和3年事務連絡に基づき、ジオグラフィーSLの履修及び単位の取得をもって代替している。(事務連絡1(2)の記載例)
		ジオグラフィーSL			A A A	5	3	B B B	3	3					6	
		略														
	公 民	倫理														教育課程特別校則を適用し、フィロソフィーHLの履修及び単位の取得をもって代替している。(事務連絡1(3)の記載例)
		フィロソフィーHL			B B B	3	5	A A A	5	4					9	
		略														
	数 学	〃														
	〃															
	理 科	〃														
	〃															
	体 育 健 康	〃														
	〃															
	芸 術	音楽 I														令和3年文部科学省告示第127号に基づき、ミュージックSLの履修及び単位の取得をもってみなしている。(事務連絡1(1)の記載例)
ミュージックSL				B B A	4	3	A A A	5	3					6		
	略															
外 国 語	〃															
〃																
家 庭	〃															
〃																
情 報	〃															
〃																
理 数	〃															
〃																
定 学 校 教 科 設	〃															
主 として 専 門 学 科 にお いて 開 設 さ れ る 各 教 科 ・ 科 目	農 業	〃														
	〃															
	工 業	〃														
	〃															
	商 業	〃														
	〃															
	水 産	〃														
	〃															
	家 庭	〃														
	〃															
	看 護	〃														
	〃															
	情 報	〃														
	〃															
	福 祉	〃														
〃																
理 数	〃															
〃																
体 育	〃															
〃																
音 楽	〃															
〃																
美 術	〃															
〃																
英 語	〃															
〃																
定 学 校 教 科 設	〃															
〃																
総 合 的 な 探 究 の 時 間																
小 計																
留 学																
合 計																

※「観点別学習状況」欄には、左から「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を記入

生徒氏名

総合的な探究の時間の記録		
学 習 活 動	観 点	評 価

特別活動の記録						
内 容	観 点	学 年	1	2	3	4
ホームルーム活動						
生徒会活動						
学校行事						

総合所見及び指導上参考となる諸事項	
第1学年	
第2学年	
第3学年	
第4学年	

出 欠 の 記 録							
区分	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	留学中の 授業日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数	備 考
学年							
1							
2							
3							
4							